



## 安全データシート

# Rislone Liquid Aluminum Stop Leak

### 項目 1: 物質/製剤および会社/企業の特定

#### 1.1. 製品識別子

製品名: Rislone Liquid Aluminum Stop Leak  
製品番号: 61186

#### 1.2. 推奨用途及び使用上の制限

物質または混合物で関連の特定使用: Radiator anti-leak  
対提言使用: 不明。

#### 1.3. 安全データシートの供給業者の詳細

会社と住所: **Rislone**  
P.O. Box 187  
Holly, MI 48442  
USA  
(810) 603-1321  
www.Rislone.com  
電子メール: support@rislone.com  
SDS 日付: 2024/02/01  
SDS バージョン: 1.0

#### 1.4. 緊急連絡用電話番号 (受付時間)

ChemTel Inc.  
(800) 255-3924 (North America)  
+1 (813) 248-0585 (International)

### 項目2: 危険有害性の要約

#### 2.1. 物質または混合物の分類

GHS による分類なし

#### 2.2. ラベル要素

危険有害性の絵文字: 該当なし.  
注意喚起語: 該当なし.  
危険有害性情報: 該当なし.  
注意書き:  
概要: -  
安全対策: -  
応急措置: -



JIS Z 7253:2019 による

保管:

-

廃棄:

-

危険有害性成分:

Mica

追加ラベル付け:

該当なし。

## 2.3. その他の危険有害性

他の危険有害性:

この混合物/製品には、PBTまたはvPvB、もしくはその両者として分類される基準を満たすと考慮される物質は含まれていない。

## 項目3: 組成及び成分情報

### 3.1. 成分

該当なし。この製品は混合物です。

### 3.2. 混合物

製品 / 成分	識別子	% w/w	分類	注記
Mica	CAS番号 : 12001-26-2 EC番号 : 601-648-2	<1%	Carc. 1A, H350	

セクション16のHフレーズの全文を参照のこと。職業ばく露限界は利用可能な場合は、セクション8に記載されている。

## その他の情報

## 項目4: 応急措置

### 4.1. 応急処置の解説

一般情報:

事故の場合: 医師または緊急部門に連絡すること - ラベルまたはこの安全データシートを持参する。

被害者の状態に疑問がある場合、または症状が継続する場合は、医師に連絡すること。絶対に意識不明の人に水やその他の飲み物を与えないこと。

吸入した場合:

不快感がある場合: 被害者を新鮮な空気を吸える場所に移動する。

皮膚に付着した場合:

刺激が発生した場合: 水ですすぐ。刺激が続く場合は、医師と相談すること。

眼に入った場合:

眼に入った場合: 大量の水または塩水 (20~30 °C) で目を洗い流し、刺激が止まるまで続けます。コンタクトレンズを外すこと。

飲み込んだ場合:

水で口を十分に洗い、多量の水を飲むこと。不



JIS Z 7253:2019 による

快感が続く場合：この安全データシートを持参して、医師と相談すること。

やけど：

該当なし。

**4.2.** 重大な症状と作用の大部分には、急性および遅延性の両方がある  
不明。

**4.3.** 何らかの即時の手当および特別な治療が必要とされることの表示  
対症療法を行う。

医師に対する特別な注意事項

この安全データシートを持参のこと。

## 項目5: 火災時の措置

**5.1.** 消火剤

該当なし。

**5.2.** 物質または混合物から生じる特別な危険有害性

火は濃い煙をもたらす。燃焼製品にさらされると、健康に害を及ぼす可能性がある。火にさらされた密閉容器は、水で冷却するべきである。絶対に、消火水が下水や近くの地表水に入らないようにする。

**5.3.** 消防士に対する助言

接触を防ぐために、自給式呼吸装置と防護服を着用すること。直接ばく露した場合は、引き続き助言を得るために緊急サービス（119）に連絡すること。

消防士は適切な個人用保護具を着用するべきである。

## 項目6: 漏出時の措置

**6.1.** 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

汚染区域は滑りやすい場合がある。

**6.2.** 環境に対する注意事項

湖、小川、下水道などへの排出を避けること。

権限のない人を流出から遠ざける

**6.3.** 封じ込め及び浄化の方法及び機材

不燃性、吸収性物質で流出物を入れて収集します。砂、土、バーミキュライトまたは珪藻土を廃棄し、地元の規制に従って廃棄できるように容器に入れます。

洗浄は可能な限り、通常の洗浄剤で行う。溶剤の使用は避けること。

**6.4.** 他のセクションを参照

廃棄物取り扱いの追加情報についてはセクション13を参照。

適切な個人保護装置に関する情報についてはセクション8を参照。

## 項目7: 取扱い及び保管上の注意

**7.1.** 安全に取扱うための注意事項

作業場での喫煙、飲酒、食べ物の摂取は禁止する。

作業者保護に関する情報については、「ばく露制御/個人保護」のセクションを参照のこと。



JIS Z 7253:2019 による

## 7.2. あらゆる配合禁忌を含む、安全な保管条件

推奨保管材料:

必ず元の容器と同じ物質の容器に保管すること  
。

保存温度:

Cool, dry conditions in well sealed  
receptacles

混触危険物質:

Foodstuffs  
Oxidizing agents

## 7.3. 特定の最終用途

この製品はセクション1.2で引用した応用のみに使用しなければならない。

## 項目8: ばく露防止及び保護措置

### 8.1. 許容濃度

職業ばく露限界のある物質の全国リストに記載されている物質はない。

DNEL:

利用可能なデータなし。

PNEC ( 予測無影響濃度 ):

利用可能なデータなし。

### 8.2. 暴露の管理

不必要的被ばくを防ぐため、全般的な管理を行います。

一般的な推奨事項:

作業場での喫煙、飲酒、食べ物の摂取は禁止する。

ばく露シナリオ:

"この製品にはばく露シナリオは実装されていない。

暴露限界値:

この製品の物質に対する職業ばく露限界は定義されていない。

適切な技術的管理:

本製品の使用中には、標準的予防措置が適用されます。蒸気の吸入を避けます。

衛生対策:

使用後に手を洗うこと。

環境暴露管理:

特定の要件なし。

### 個人の保護措置

一般的:

CEマークが付いた保護具のみを使用すること。

呼吸用保護具:

特定の要件なし

身体保護具:

特定の要件なし。

手の保護具:

材料	手袋の厚さ (mm)	破過時間 (分)	標準	
保護手袋	-	-	EN374	

保護眼鏡/保護面:



JIS Z 7253:2019 による

推奨	標準	
ルド付き安全メガネ	EN166	

## 項目9: 物理的及び化学的性質

### 9.1. 基本的な物理学的および化学的特性に関する情報

物理的状:	液体
色:	灰色
臭い:	Light
臭気しきい値 (ppm) :	利用可能なデータなし
pH:	8.5-9.5
比重 (g/cm <sup>3</sup> ):	0.995-1.02
粘度:	Not determined
:	1100-1700 mPa.s

#### フェーズの変更

融点・凝固点 (°C):	Not determined
沸点/沸騰範囲 (°C):	Not determined
蒸気圧:	Not determined
蒸気密度:	利用可能なデータなし
分解温度 (°C):	Not determined
蒸発速度:	

#### 火災および爆発の危険性に関するデータ

引火点 (°C):	該当なし
引火性 (°C):	該当なし
自然発火温度 (°C):	Not determined
爆発 (燃焼) 限界の上限および下限 (% v/v):	利用可能なデータなし
爆発性:	Product does not present an explosion hazard
酸化的性質:	Not determined

#### 溶解度

水中の溶解度:	Fully miscible.
分配係数 (LogKow):	利用可能なデータなし
脂肪の溶解度 (g/L) :	利用可能なデータなし

### 9.2. その他の情報

#### 揮発性有機化合物(VOC):



JIS Z 7253:2019 による

## 項目10: 安定性及び反応性

### 10.1. 反応性

利用可能なデータなし。

### 10.2. 化学的安定性

製品は「取り扱いと保管」のセクションに記載されている条件下で安定している。

### 10.3. 危険有害反応可能性

不明。

### 10.4. 避けるべき条件

Excessive heat

### 10.5. 混触危険物質

Foodstuffs

Oxidizing agents

### 10.6. 危険有害な分解生成物

セクション1で指定したとおりに使用した場合、製品の劣化は生じない。

## 項目11: 有害性情報

### 11.1. 毒物学的作用に関する情報

#### 急性毒性

使用可能なデータを基にすると、分類基準が満たされていません。

#### 刺激性/腐食性

使用可能なデータを基にすると、分類基準が満たされていません。

#### 重篤な眼の損傷/刺激

使用可能なデータを基にすると、分類基準が満たされていません。

#### 呼吸器ま感作

使用可能なデータを基にすると、分類基準が満たされていません。

#### 皮膚感作

使用可能なデータを基にすると、分類基準が満たされていません。

#### 変異原性

使用可能なデータを基にすると、分類基準が満たされていません。

#### 発がん性

使用可能なデータを基にすると、分類基準が満たされていません。

#### 催奇形性 / 発育への影響

使用可能なデータを基にすると、分類基準が満たされていません。

#### 特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）

使用可能なデータを基にすると、分類基準が満たされていません。

#### 特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）

使用可能なデータを基にすると、分類基準が満たされていません。

#### 呼吸に対する危険有害性

使用可能なデータを基にすると、分類基準が満たされていません。



JIS Z 7253:2019 による

健康への慢性効果の可能性  
不明。

#### 項目12: 環境影響情報

##### 12.1. 毒性

利用可能なデータなし。

##### 12.2. 残留性・分解性

使用可能なデータを基にすると、分類基準が満たされていません。

##### 12.3. 生体蓄積性

使用可能なデータを基にすると、分類基準が満たされていません。

##### 12.4. 土壤中の移動性

利用可能なデータなし。

##### 12.5. 12.5.PBTおよびvPvB評価の結果

この混合物/製品には、PBTまたはvPvB、もしくはその両者として分類される基準を満たすと考慮される物質は含まれていない。

##### 12.6. その他の悪影響

不明。

#### 項目13: 廃棄上の注意

##### 廃棄物処理方法

内容物/容器をに廃棄すること。

##### 特定のラベル

##### 汚染された包装

製品の残渣を含む包装は製品と同様に処分する必要がある。

#### 項目14: 輸送上の注意

	14.1 国連番号	14.2 輸送固有名	14.3 範疇	14.4 PG*	14.5 Env**	他の 情報:
ADR	-	-	-	-	-	-
IMDG	-	-	-	-	-	-
IATA	-	-	-	-	-	-

\* 容器等級

\*\* 環境有害性

##### 追加情報

ADR、IATAおよびIMDGによると危険物ではない。

##### 14.6. 使用者のための特別な予防措置

該当なし。

##### 14.7. MARPOL条約の附属書IIおよびIBCコードによるばら積み運搬



JIS Z 7253:2019 による

利用可能なデータなし。

#### 項目15: 適用法令

- 15.1.** 物質または混合物ごとに個別に関連する、安全、健康および環境に関する規則/法律  
応用の制限: 特になし。  
特定教育に対する要求: 特定の要件なし。  
その他の情報: 該当なし。  
既存および新規化学物質 (ENCS): どの化学成分も表示されていない。  
毒物及び劇物取締法: どの化学成分も表示されていない。  
化管法 (PRTR): どの化学成分も表示されていない。  
有機溶剤中毒予防規則: どの化学成分も表示されていない。  
ソース: GHS に基づく化学品の分類方法. JIS Z 7252 (2019)  
GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS). JIS Z 7253 (2019)

#### 項目16: その他の情報

セクション3に記載のHフレーズ全文

H350, 発がんのおそれ。

セクション1に記載の識別された使用の全文

不明。

略語と頭字語

ACGIH = アメリカ産業衛生専門家会議

ADN = ヨーロッパ内陸水路危険物運送規定

ADR = ヨーロッパ道路危険物運送条約

ATE = 急性毒性見積

BCF = 生物濃縮係数

CAS = ケミカル・アブストラクト・サービス

EINECS = 欧州既存商業化学物質リスト

GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム

IARC = 国際がん研究機関

IATA = 国際航空運送協会

IMDG = 国際海上危険物規程

LogPow = オクタノール／水分配係数の対数

MARPOL = 1978年の議定書によって修正された1973年船舶による汚染防止のための国際条約

NIOSH = 国立労働安全衛生研究所

OECD = 経済協力開発機構

OSHA = 労働安全衛生局

RID = 鉄道による危険物の国際輸送に関する規制

RRN = REACH登録番号

SCL = には特定の濃度限界値 (SCL) がある。

STEL = 短期ばく露限界



JIS Z 7253:2019 による

STOT-RE = 特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

STOT-SE = 特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

TWA = 時間加重平均

UN = 国際連合

VOC = 挥発性有機化合物

#### 追加情報

職業ばく露限界のある物質の全国リストに記載されている物質はない。

本製品には安全データシートは義務付けられていません。この安全データシートは関連情報を通知するため任意で作成されたものです。

#### 安全データシートは次により確認される

NL

#### その他

変更（最後の本質的な変更（SDS バージョンの最初の文字、セクション1を参照）に対して）は、青い三角形で表示されている。

この安全データシートの情報はこの特定製品（セクション1に記載）にのみ適用され、他の化学薬品/製品で使用する場合は必ずしも正しいものではない。

この安全データシートを、製品の実際の利用者に渡すことを推奨する。この安全データシートの情報は製品仕様としては使用できない。

国-言語: JP-ja